

# AGF タフライト<sup>®</sup>

Tough & Light

省力化

安全性  
向上

CO<sub>2</sub>  
削減

NETIS 国土交通省  
新技術活用システム登録  
KT-200072-A

## 「AGF タフライト」の特徴

### 鋼管の軽量化により

「省力化」、「施工の安全性向上」、「CO<sub>2</sub>削減」を図ることができます。

- 高強度鋼材を用いることにより、従来の AGF 鋼管の曲げ強度を保持しながら、薄肉化を実現しました。AGF タフライトの接続部は、従来の AGF 鋼管素管部以上の曲げ強度を有しています。
- 軽量化により、これまでの鋼管のガイドセルへの設置や接続など苦渋の作業の軽減が図れます。
- 鋼材の使用量が1mあたり16kgから9.6kgとなり、12.5m当りCO<sub>2</sub>排出量が168kg削減します。



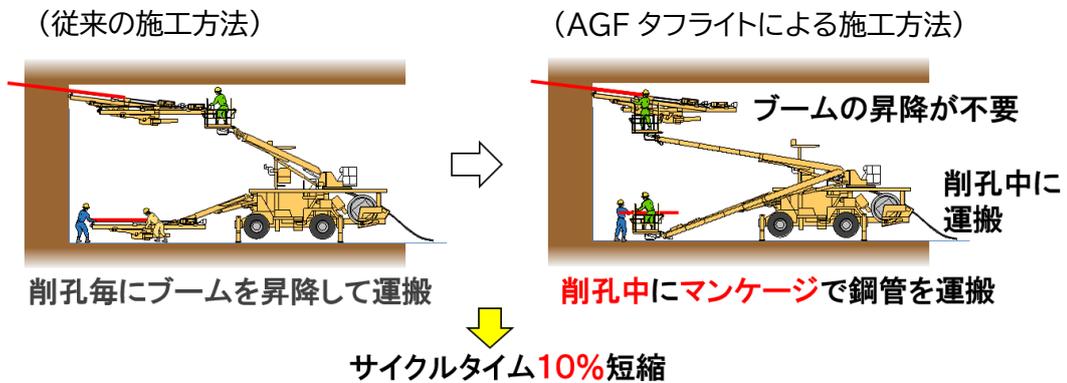
## 機械的性質比較表

	寸法(mm)		材料規格	単位質量 (kg/m)	降伏強度 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	鋼管の曲げ強度 (Mmax)(kN・m)
	外径	厚み					
従来 AGF	114.3	6.0	STK400	16.0	235	400	12.3(素管部)
AGF タフライト	114.3	3.5	STK730 相当 (端スリット管は STK400)	9.6	600	730	18.8(接続部※)

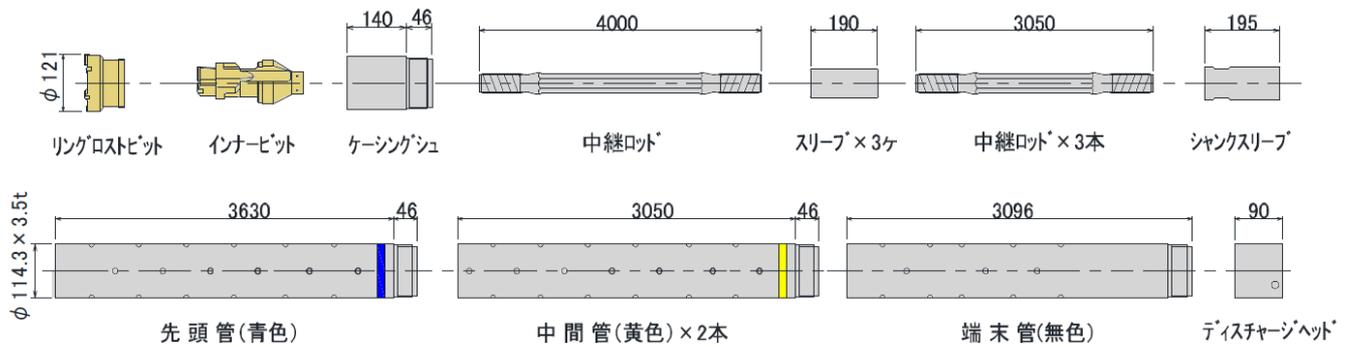
※実測値

## 「軽量化」による打設作業の効率化

軽量であるため、鋼管の移動はブームを毎回降ろさずにマンゲージで運搬できるため、作業効率が向上します。



## 「AGF タフライト」部材(打設用)



## 「AGF タフライト」施工状況



### 環境負荷低減 詳細



CO<sub>2</sub> 排出原単位 2100kg-CO<sub>2</sub>eq(=2.1kg-CO<sub>2</sub>/kg)\*とすると

AGF タフライト鋼管 1mあたりのCO<sub>2</sub>削減量は、従来AGF鋼管と比較して 13.44kg/m (12.5m あたりでは 168kg/本)と計算されます。

※将来のリサイクル効果を含めない、生産のみのCO<sub>2</sub> 排出原単位